

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年3月8日

【事業所概要(事業所記入)】

| | |
|---------|------------------------------------|
| 事業所番号 | 4690800018 |
| 法人名 | 株式会社 みさき |
| 事業所名 | グループホームみさき |
| 所在地 | 鹿児島県出水市荘850-3 (電話) 0996-64-2780 |
| 自己評価作成日 | 平成28年2月16日 |

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.wam.go.jp/ |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人NPOさつま |
| 所在地 | 鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号 |
| 訪問調査日 | 平成28年3月2日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設では家族会があり敬老会・忘年会・クリスマス会等家族会主催の催しが開かれる。施設と家族会の連携が上手くいき、特に年1回のバラ園見学には9割のご家族様の参加を頂き光栄におもっています。最近ではボランティアの紙芝居や読み聞かせなどが飛び込みで申し出があったり、民生委員さんよりアクセサリ作りを運営推進委員会を通してご提案頂き、さっそく職員も一緒に教えて頂きました。又職員のボランティア活動も積極的な取り組みを行っており、施設周辺の草刈りや花壇・菜園作りも行っています。忙しい中でも家族会・職員の協力が得られることは素晴らしいことだと思っております。今後も入居者・ご家族・職員との絆を大事にしながら、満足いただける施設を目指しています。

平成19年に1ユニットで開設された当ホームは、近隣には温泉施設や鶴の飛来地もある。国道沿いにありながらも田園風景が広がるのどかな地に建てられており、広々とした園庭は桜の時期には近隣住民を招き花見会を開く年もある。菜園や花壇も設け、日常的に利用者の散歩や外気欲などの気分転換の場として活用されている。

災害時などの避難誘導に容易な平屋造りであり、全体に清掃が行き届き、明るさやゆとりの広さなど、すべての面で利用者の安全や安らぎの生活空間になる様に設計されている。

運営推進会議や自治会を地域交流の大切な機会にしており、地域資源の活用や高齢化に伴う地域の福祉相談なども気軽に受け入れている。読み聞かせなどのボランティアの慰問は利用者の楽しみになっている。

開設と同時に家族が運営する「家族会」を立ち上げおり、行事を通し家族間の意見交流の機会も多く、ホームとの強い信頼関係を築き上げている。

管理者は職員が日々のケアの中で、いつでもプランに目を通し現状に沿ったケアが出来るように「サービス計画者」を1冊のファイルに収め、モニタリングの意識付けを徹底している。

職員は利用者の尊厳や誇りを大切に、思いや意向、状態変化の把握に努め、利用者が住み慣れた地域でその人らしく、穏やかに過ごせるように、少人数なればこそそのきめ細かな支援に努めている。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている | 当苑理念を常に見える所に掲げて、スタッフ会議で理念を読みながら、振り返りを行っている。 | 職員全員で話し合ったホーム独自の理念を掲げている。慣れ親しんだ地域でその人らしさを大切に、たまには方言も交えながら、ほっとできる雰囲気づくりを大切にしている。家庭生活の延長として支援し理念に繋げている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している | 地域の自治会に加入して、運営推進委員会にも出て貰い、災害避難通報の連絡網にも参加協力して頂ける体制にしている。又理美容のカットは近所の美容室の方が出向いて貰っている。 | 自治会に加入し回覧板や運営推進会議は地域交流の大切な機会になっている。花見の時期には地域住民を招き園庭で食事会をする年もある。地域資源の活用や野菜の差入れもあり折に触れ、交流の機会を持っている。今後、総会への招待も視野に入れている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている | 施設見学は入所希望者のみではなく、見学を希望される方はいつでも受け入れ、当施設の特徴などについて説明している。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 自治会長・民生委員・市の職員家族会代表に参加して貰い、活動内容を写真や作品を見て貰いながら報告している。意見や助言はスタッフ会で確認しあい質向上に努めている。特にヒヤリハットの意見は生かされている | ホームの現況報告や課題等について意見交換が行われ、サービスに反映している。ヒヤリハット報告は毎回取り上げ、再発防止策を検討しており、未然の事故防止に繋げている。行事との合同開催や家族参加の見直しも含め、マンネリ化傾向の会議の内容を再検討する意向である。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5 | 4 | <p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p> | <p>入居者の状況や空き室状態などの報告や相談、介護保険・生活保護などの業務に関するも相談している。</p> | <p>運営推進会議の出席もあり、ホームへの理解は得られている。都度、電話や訪問で相談や情報交換も出来ており、市の担当者を講師に招き研修を行うなど、良好な関係を築いている。</p> | |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>施設の状況や入所に関する事、その時々生まれる問題などについて報告・相談したり指導を頂いている。</p> | <p>年に1回、地域包括支援センターより講師を招き研修会を開いている。職員は身体拘束の知識や理解を深めており、日々のケアに活かしている。言葉による抑制には特に注意を払い、管理者は、気付きは都度、注意を促し、安全を確保しながら、職員の見守りと連携で自由な暮らしを支援している。</p> | |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>職員全員で虐待についての勉強会を行っている。日頃より身体の観察を行い、言葉使いについて職員同士注意し合っている。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p> | <p>市の職員を招いて権利擁護に関する勉強会を行なう。必要になった時に活用できるようにする。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>入所される前に家族の方に契約書・重要事項・入退院に関する説明を行い、十分に理解納得が得られるようにしている。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>家族が話しやすい雰囲気にも勤め面会時や行事の交流会の時に意見や要望を聞けるようにしている。意見や要望があったら、スタッフ会議や送りで話し合い意見要望に反映できるようにしている。</p> | <p>家族が運営する「家族会」の設置もある。各行事時には沢山の参加を得られており、意見や要望の抽出の機会になっている。出された意見、要望は全員で話し合い、サービス向上に繋げている。面会時や遠方の家族とも電話連絡や通信を通して聞き取りや情報発信をしている。</p> | |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>職員の意見は常に聞くよう努めその場で話したり、スタッフ会議で全員で話し合い反映に勤めている。</p> | <p>スタッフ会議は議題の決定から進行までを職員の担当制を取っており、職員一人一人が日頃から現場の気付きやアイデアを意識したケアに当たりサービスの改善や向上に活かしている。</p> | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p> | <p>職員が働きやすい環境のもと一人ひとりの意見を聞くように努めている。又、各自が向上心を持ってよう学ぶ機会を設けたり努力した結果に繋がるように支援している。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 13 | | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>市の職員や消防署の方を招いての内部研修を行ったり、外部研修に全員が交代で参加できる機会を作っている。外部研修後はスタッフ会議で発表して内容を共有し合っている。</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>グループ協議会に加入して勉強会や交流会に参加しサービス向上に努めている。又他のグループホームを訪問し情報を交換したり、業務に関することを尋ねたりして業務に活かせる様になっている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 会話をしながら、心を開いて何でも話して貰えるように、些細なことや昔話・家族の話題などで、安心して貰い、身近に感じて頂けるような関係作りに努めている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 入所に至る経緯・不安・要望を聞き、本人や家族の要望に添えるように、プランに入れて支援している。様子は面会の時や電話で報告している。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 困っている事、支援を必要と思っていることを把握し、送りやスタッフ会議で支援方法を話し合い、支援見直しを行いながら対応している。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 本人の性格・生活歴・能力を把握して、日常生活で関わる事・いりこ・もやしの下処理・洗濯干しや洗濯たたみ・お掃除を手伝って貰っている。畑仕事・切干大根作り等昔やっておられたことを教えて下さっている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 心身の変化があれば家族に報告し相談している。家族会・行事に参加して貰い、本人・家族・施設のコミュニケーションを図り、話し合いや意見を貰いながらお互いの関係を深めている。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 兄弟・子供さんや近所の方が観えた時は、居室や落ち着いたテーブル席で過ごしていただいている。墓参りやお寺さん等にも連れて行ってもらっている。施設では地元の花や景色を見に行っている。 | 馴染みの美容室や、かかりつけの病院受診などを支援している。自宅のある地域行事に参加したり、電話や手紙も活用し、これまで築いた馴染みの人や場との関係が途切れないように、家族の協力も得ながら支援している。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 起床時はお互いに挨拶ができるように心がけて声掛けをしている。体操・レクリエーションはお互いの顔が見れるようにしている。食事席は職員も一緒に座り、同席者の関係を見たり話を聞いて孤立しないようにしている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 入院されている方は様子を伺い家族と連絡を取り合っている。退院の相談や支援を行っている次の施設の要請がある時は、情報提供などを行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の介護を通じ、又はご家族の希望を聞いて希望の把握に努めている。意思表示が困難な方はスタッフ会議で対応を検討している。 | 少数ではあるが、意思を確認できる利用者も居る。難しい場合は家族を介した情報や、日々のケアの中で表情、所作などから感じ取り、職員で共有している。入浴時など1対1のリラックスした場面も大切にしながら、思いの汲み取りに努めている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご本人、ご家族、居宅ケアマネ、医療機関等から情報を貰い把握に努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日々の介護を通じて、心身状態を知り、毎日の申し送りやスタッフ会議で共有し把握に努めている。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 日々の介護を通じ本人ご家族の希望や心身状態を把握し、本人ご家族・担当者を交えて担当者会で介護計画を作成し、スタッフ会議でモニタリングを行って現状に合っているか検討して手直しをしながら作成している。 | 利用者や家族の意向を踏まえ、担当制の職員の意見も取り入れ現状に即した介護計画を作成している。プランは見やすい場所に1冊にファイルされ、常日頃、職員はプランに目を通し、現状に沿ったケアが出来ているか照らし合わせている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 業務日誌・ケース記録・申し送りや申し送り後・ヒヤリハット等で情報を共有し、必要な時にはカンファレンスを行い、ケアの見直しや計画変更に繋げている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 必要に応じてカンファレンスを行うか、その場のスタッフが臨機応変にこたえられるようにしている。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 日頃から自治会長さん、民生委員さん、ご近所を通じ情報を得ている。個々の生活歴や習慣に合わせて、スーパーへの買い物畑仕事等楽しめるように努めている。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | かかりつけ医は、本人ご家族に決めて頂いている。往診や専門医の受診も相談している。受診に際して気になる事を連絡表・あるいは直接報告し指示を受けている。 | 入居前からの希望のかかりつけ医を支援しており、受診時は原則家族が同行している。状況により他科受診などは看護職員が同行することもあり、柔軟に対応している。心身の状態変化を密に観察し、利用者の日頃の健康管理は適切に行われている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>1日1～2回の検温を行い、常に表情や体調変化の把握に努め、看護職員へ相談し、必要時には医師の診察を依頼して貰う。受診時は受診ごとに診療記録をかいてもらい全職員が見やすいところに掲示し保管している。</p> | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p> | <p>入院中の状況や退院に向けて医療連携室と連絡を取り、情報交換を行っている。</p> | | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>重度化した場合に、施設内で出来るケアについての説明や、体調に変化が見られた際にはその都度家族絵の連絡を行っている。</p> | <p>「重度化した場合における対応に係る指針」を作成し、重度化や終末期に向けたホームの方針を家族に説明し、同意書を交わしている。状態変化の都度、主治医の指示を仰ぎ、家族の意向を再確認すると共に、職員も方向性を共有し、可能な限り希望に添えるように、ホームで出来る最大限の支援に取り組んでいる。</p> | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>研修への参加、消防署の救急法（心肺蘇生法・AEDの使い方）の研修を受けている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>消防署の協力を得て、夜間帯を想定した避難訓練消火訓練を行っている。訓練時は避難通報連絡網に地域の自治会長さん・消防団長さんにも協力を貰っている。その時非常食の点検をする。</p> | <p>年に2回、消防署立ち合いの避難訓練とホーム独自で夜間を想定した自主訓練を行っている。通報・避難・消火の一連の訓練には自治会長や地域の消防分団の参加もある。避難時の利用者の見守り役など、地域の協力体制に具体的な役割分担も盛り込めないか検討している。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 一人ひとりに対して尊敬・敬愛の念を持ち、自尊心を傷つけないように、丁寧な言葉かけを配慮している。 | 利用者個々に合った丁寧な声かけや対応を日々心がけている。居室のトイレはプライバシーや羞恥心へ配慮した造りになっている。些細な事にも気を配り、常に尊敬の念を持ち、誇りやプライバシーを損ねない対応に努めている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 本人が思いや希望を表現できるように、日々の生活において常に対話の場を持つように心がけている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 毎日の過ごし方でレクリエーション・入浴・外出等本人の希望を優先し、無理強いせず一人ひとりのペースをなるべく乱さないように支援している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している | 洗面・整髪の声掛けをしている。洗顔後のクリームや整髪用のブラシ等は愛用品を持参。衣類は本人の好みに合ったものを家族に持参して貰っている。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の盛り付けは美味しく感じられるように配慮している。食事は職員も同席して、食べ方を観たり・好みを聞いている。食材の下ごしらえの手伝いをお願いしている。 | メニューはカロリーや栄養配分を考慮してバランスよく組まれている。ひな祭りや花見弁当など年間を通した行事食も取り入れ変化を持たせている。らっきょう漬けなど昔ながらの保存食作りや調理の下ごしらえも利用者も共に楽しみながら行っている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 本人の状態や好みに合わせた食形態で、食べやすい食器を使いバランス良く食里量・水分量が確保できるように努めている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、義歯・自歯を磨いてもらっている。個々の能力や歯の状態に応じて、点検し磨き残しの介助を行っている。夜間はいれれば洗浄剤で洗浄している。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 排泄表・水分表を使い排泄パターンを知り、トイレ誘導に繋がっている。声掛けの仕方・タイミングをカンファレンスや送りで検討しケアを試みている。パット等の使用についても話し合い見直しを行っている。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 排便チェック表で個々の排便状態を知り、リハビリ体操、レクリエーション・散歩・水分補給等、個々に合わせ体を動かすことに勤めている。便秘の度合いによっては、看護師・医師に相談している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している | 入浴予定者は、外出・受診予定等を考えて決めている。入浴前に体温・血圧を測り状態確認して入ってもらっている。拒否・気が進まない等の時は、時間をずらしたり曜日を変えている。 | 基本は週3回であるが、必要や希望に応じ回数や時間などは柔軟に対応している。ためらう利用者には時間をずらしたり散歩に出るなど気分展開を図り無理強いの無いように支援している。近隣に温泉施設もあり家族と出かける利用者もいる。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 就寝時間は一人ひとり希望される時間に床に入ってもらっている。入浴された後外出後等には昼寝の声掛けを行っている。室内は換気・温度の調節・カーテン等で環境を整えている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 今服用中の薬は看護師管理で効能・用法がいつでも確認できるように説明書が保管されている。薬の変更や用法が変更になった時は送りノートで周知できるようにしてある。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 個々に得意とされることを職員と一緒に行って貰っている。縫い物が好きな方は雑巾や布きん縫いを、野菜作りの好きな方には菜園をやってもらっている。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | ベランダでの日光浴・季節の野菜の植え付け・収穫等園内での参加の他に、職員と一緒に食材の買い物・鶴見物・アジサイ・彼岸花の見物初詣等馴染の所に出かけている。 | 年間計画に季節ごとの外出支援を組み込んでおり、バラ園見学やソーメン流しなど、家族と共に楽しんでいる。天候や健康状態を見てドライブを兼ね買い物にも出かけている。陽当たりの良い広々とした敷地内は安全な散歩コースであり、日常的に外気欲や気分展開の場とし活かされている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>お小遣いを持っていても実際に使えるのが困難だが、職員と一緒に食材の買い物に行った時は、小銭を出したりお釣りを数えて貰っている。</p> | | |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p> | <p>ご家族に連絡したい・頼みごとがあると申し出がある時は、電話で本人とご家族様が直接話ができるように配慮している。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>玄関前に季節の花を飾ったり壁紙を作って展示して季節感を取り入れている。フローアでは自然の光を取り入れ、日差しの強い時はカーテンを閉めたり、換気をしてその時に応じて快適に過ごせる様に工夫している。</p> | <p>平屋造りの設計で明るさやゆとりの空間は利用者の安らぎの生活を支援している。避難誘導も容易であり、安全管理にも配慮している。臭いもなくホール全体に清掃が行き届き清潔に保たれている。手作りの作品や季節の生が飾られ、調理の様子からも家庭的な雰囲気が伝わってくる。</p> | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>フローアにはテレビやソファを配置してあり、畳の間も設けてある。ベランダのベンチでは日光浴をしながら、国道の車を観たり、居室の窓からは桜や田んぼが見れてゆったりできるようになっている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>使い慣れた筆筒・大切にしているものや家族の写真等を持ってきてもらって落ち着けるようにしている。又ベッドを使い慣れない方には畳の対応も可能である。</p> | <p>認知の症状により、家具の向きやシンブルにまとめられた居室もある。トイレも設置しており、夜間帯やプライベートにも配慮している。馴染みの品や家族写真に囲まれ、落ち着ける空間になっている。</p> | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>一人ひとりの歩行状態に合わせて手摺りやシルバーカーを使用して貰い転倒防止を図り、自立に繋げている。移動する経路に動くものや不必要なものは置かないように心がけている。</p> | | |

V アウトカム項目

| | | | |
|----|---|---|---------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | | 1 ほぼ全ての利用者の |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4 ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1 毎日ある |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | | 3 たまにある |
| | | | 4 ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1 ほぼ全ての家族と |
| | | | 2 家族の2/3くらいと |
| | | | 3 家族の1/3くらいと |
| | | | 4 ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1 ほぼ毎日のように |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | | 3 たまに |
| | | | 4 ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ | 1 大いに増えている |
| | | | 2 少しずつ増えている |
| | | | 3 あまり増えていない |
| | | | 4 全くいない |

| | | | |
|----|------------------------------------|---|---------------|
| 66 | 職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ | 1 ほぼ全ての職員が |
| | | | 2 職員の2/3くらいが |
| | | | 3 職員の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1 ほぼ全ての家族等が |
| | | | 2 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |